

## 3月1日：VN指数は最終的に反発 (VN-Index +0.44%)

- VN 指数は世界的にも堅調な投資家心理を保ちつつ、上昇して本日の取引を開始させた。
- ただ、昨日から続く売り方の圧力は根強く、不安定な指数変動をもたらし、前場はほぼ横ばい水準での推移となった。
- 後場に入っても同じような値動きが続いた。しかし、1,248pt 付近では支持帯がみられ、大きな下落にはつながらず、最終的には前日比プラスで終了した。
- セクター別では、日用品・一般消費財セクターが最も買われ、メディアセクターは最も下落した。
- 293 銘柄が上昇、182 銘柄が下落、82 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日より減少し、9.3%減の 23.7 兆ドンとなった。

## VN30 指数はなんとか上昇 (VN-30 +0.10%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、19 銘柄が上昇し、7 銘柄が下落、4 銘柄が変わらずとなった。
- GVR (+1.92%)、FPT (+1.65%)、VHM (+1.27%)、STB (+1.27%) は 1%超上昇し、指数上昇の助けとなった。
- VPB (-1.26%) は唯一、1%以上下落した銘柄だった。

## セクター・個別株の動き

- FPT (+1.65%) は本日、日本の IT サービス会社である Next Advanced Communications 社の買収を発表。日本市場での更なる収益力向上が期待され、投資家から買われた。
- DGW (+6.09%) は、TCB での資金借入に関する取締役会決議を発表した。

- 外国人投資家も本日、1890 億ドルの買い越しに転じた。MWG (+0.87%)、SSI (+0.95%)、VIX (+3.28%)、STB (+1.27%) が大きく買い越された。一方、FUEVFNND (-0.75%) と VNM (-0.69%) などが売り越された。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。